

2008年度事業報告



2008年度スローガン

熱き『志』で拓け！未来(あす)への道

第22代理事長

森田 博之

2008年度スローガンは、熱き『志』で拓け！未来(あす)への道を掲げさせていただきました。2007年度に東大和青年会議所を10年以上支えてこられた経験豊富な5名が卒業され、歴代理事長も、現役正会員の中には不在という中で2008年度のスタートであり、この東大和JCを支えるのは経験というよりも、その『志』で支える必要がありました。

連日のように報道されるニュースを見ると、眼を覆いたくなる事件が2008年度も多くありました。このような事件は、何か特別な手当てをし、すぐに改善されるかといえそうではなく、これらの問題は、すべて国民一人ひとりの心の中にある問題であると考えます。福沢諭吉の言葉に「立国は私なり、公に非ざるなり」とあります。国を支えていくのは、志を持った国民一人ひとりだということです。今の社会は、何かあれば「政治の責任だ、学校の責任だ。」などと責任を転嫁し、まるでそう言っていれば世の中良くなるかのようです。そのような中で、やはり、未来、明日を切り拓いて行くのは、若きJC世代の熱き『志』以外ないと考えるのです。

2008年度、このスローガンのもと、さまざまな事業を行いました。1月の賀詞交歓会から始まり、3月には、若いながらもフラの世界で活躍されている渡辺コースケ氏を招き、その『志』を感じました。4月には、本物の力士を呼び、テレビだけではない力士と触れ合うことで、子どもたちに感動を与えることができました。また、東大和市民体育館を出て、今年で3回目を迎える地域とのわんぱく相撲も、青少対の方々をはじめ多くの地域の方に支えられ地域のわんぱく相撲になってきたのではないのでしょうか。5月には新渡戸稲造の「武士道」を訳されている岬龍一郎氏をお招きし、日本を支えてきた人物など例に、日本人としての気概を持つことの重要性を教えてくださいました。7月には、旬な収穫祭と題しジャガイモ掘り、この事業は単なるジャガイモ掘りと思われがちですが、ジャガイモができるまでを知ることにより、その食物の尊さを学んでいただけたのではないかと思います。10月には、新人担当例会、起案から企画運営、報告、事業実行あたる一連の基本を新人には学んでいただけたのではないのでしょうか。11月は狭山丘陵にて、ごみのポイ捨ての現状を見、子どもたちと共にモラル向上のためのポスターを作成いたしました。

2008年、アメリカのサブプライムローンから波及した100年に1度の世界不況といわれる今、これからの時代を創る私たちJC世代の責任は大変重いものがあります。その解決方法はやはり一人ひとりの『志』にかかっています。すぐには、結果が出なくとも、謙虚に己を磨き、コツコツ、コツコツ前へ進む。2008年度の事業がいつか大きく実る時が来ることを信じています。

最後に、1年間、市長をはじめ行政関係、諸団体の皆様方、東大和青年会議所シニアクラブの諸先輩方、多くの方々を支えていただきました。また、最後まで一緒に1年間、戦い抜いていただきました正会員メンバーの皆様、この場をお借りし心より深く感謝申し上げます。1年間、本当にありがとうございました。

2008年度の主な事業

1月25日	第327回例会 新年賀詞交歓会
2月20日	2月通常総会
3月17日	第328回例会 『志』拡大～「新しい個と公調和」の創造
4月20日	第329回例会 第21回わんぱく相撲東大和場所
5月21日	第330回例会 『志』に熱を……から青年の「義務」とは何か
6月15日	第20回わんぱく相撲東京都大会
7月27日	第331回例会 旬な収穫祭～地元の野菜をとって食べよう～
9月17日	9月通常総会
10月15日	第332回例会 新人担当例会五感利きゲーム
11月2日～3日	農商工祭り店舗出店
11月22日	第333回例会 狭山丘陵が泣いている！ ～不法投棄の現状～
12月13日	第334回例会 卒業式・クリスマスパーティー
12月17日	12月通常総会